

令和7年度 災害・健康危機対策委員会 活動報告

■委員名	委員長：神崎初美 副委員長：山田裕基 委員：大東由美・山原敦子・竹内博美・松本妙子・村上直美・福本和人 國本直子・小田垣かおる・陰山暁介・松下清美・勝田玲子
■開催回数	6回
■活動目標	1. 地域における連携支援体制の構築及び災害発生に備えた体制強化、知識・技術の普及啓発 2. 健康危機関連規程集の見直しと充実化 3. 災害支援ナースのブラッシュアップとなる研修の企画推進 4. 新興感染症への看護支援体制の強化 5. 地域の防災訓練への参画、地域住民への減災教育、防災力強化の取り組み
■活動内容	1. 地域における連携支援体制の構築及び災害発生に備えた体制強化、知識・技術の普及啓発 1) 国・県・市・医師会主催の防災訓練に災害支援ナースを派遣し、関係機関や災害支援チームとの連携強化を図り、災害支援体制の構築を進めた。 2) 災害看護学会等で活動報告を行うとともに学会参加により最新の知識を学び、委員会で情報共有に努めた。 3) 地域の防災体制の強化を深められるよう、まちの減災ナースと連携を行い、交流を図った。 2. 健康危機関連規程集の見直しと充実化 1) 各施設の受援体制構築に向け、受援研修を令和7年9月9日及び11月12日に開催し、策定ガイドの周知と行政・災害拠点病院等との連携協働体制の強化を図った。 2) 受援研修に EMIS や D24H システムに関する講義を導入し、災害時の情報共有システムの理解促進を行った。 3. 災害支援ナースのブラッシュアップとなる研修の企画推進 1) 災害支援ナース養成研修を開催した。 ・災害支援ナース養成研修オンデマンド研修20時間 ・県協会で実施：10月8日 災害支援ナース養成研修 集合研修災害編5.5時間 ・県協会で実施：10月15日 災害支援ナース養成研修 集合研修感染編4.5時間 研修修了者80名を新たに登録し、県内の災害支援ナースは計600名となった。 2) 災害支援ナース交流会を2回開催した。 ・8月5日：災害派遣経験者から直接体験談を聞く場を作り、活動のモチベーションの維持向上を図った。 ・12月16日：災害支援ナース、まちの減災ナース指導者[®]、まちの保健室委員が、それぞれの活動内容や役割を共有し、災害に強い地域づくりに向け連携強化を図った。

	4. 新興感染症への看護支援体制の強化 1) 新興感染症に関する研修会を開催した。 新型インフルエンザ等感染症や新興感染症対応研修会を11月26日に開催し、兵庫県内の感染状況の動向や各施設の感染対策を共有して意見交換を行った。 5. 地域の防災訓練への参画、地域住民への減災教育、防災力強化の取り組み 1) 地域で開催される防災訓練に災害支援ナースを派遣した。 令和7年9月：三木市防災訓練 令和7年11月：兵庫県・播磨広域合同防災訓練 令和7年11月：内閣府船舶訓練 JMAT 研修、防災訓練、災害対策会議等に参加し、広域災害における地域の状況に応じた連携支援体制の構築に取り組んだ。 2) 令和8年1月17日：「ひょうご安全の日の集い」に参加した。 災害支援ナースが、一般来場者や学生を対象に応急処置や介助方法の体験型訓練を実施した。また、まちの減災ナース指導者[®]も参加し、日常の災害への備えの啓発を行った。
■活動の評価	1. 国、兵庫県、医師会等の防災訓練に災害支援ナースが参加し、災害対応経験と各機関との連携を図ることができた。まちの減災ナース・まちの保健室委員とは、災害・健康危機対策委員会と連携を持てるよう交流会を企画した。また、委員が災害関連の学会に参加し、今後はさらに訓練や研修の成果発表の機会も増やしていく。 2. 受援研修は、各施設での具体的な受援・支援活動の検討につながり、受援マニュアル策定ガイドの周知・啓発につながった。研修会では兵庫県の災害支援ナース担当者が講師として参加し、災害派遣の仕組みや情報システムについて理解できた。 3. 災害支援ナース養成研修を開催し、新たに80人が登録となり、県内の災害支援ナース登録者は計600名となった。今後は、登録者への情報提供やモチベーション維持・育成を目的に研修を継続していくことが必要となる。 4. 新興感染症に関する研修会の開催 新型インフルエンザ等感染症や新興感染症等の研修会は、最新の状況を把握できるとともに、各施設の日ごろからの感染予防行動を見直し、改善していく機会となった。 5. 防災訓練の機会は限られているが、参加した災害支援ナースは、それぞれに今後の支援活動につながる活動が行えていた。各地域での訓練は災害支援ナースの学びの場となっており、今後も多くの災害支援ナースが経験できる機会を得られるようにしていく。
■今後の課題	・災害支援ナースのブラッシュアップ研修について企画・実施し活動へのモチベーションの維持・向上を図る。 ・災害支援ナース、まちの減災ナース、まちの保健室委員との連携を図り、活動ができるように進めていく。